

うきよえ

# こども浮世絵しんぶん

藤沢市藤澤浮世絵館 2025年 1月 第27号



しろくろ げんが  
白黒にした原画

木の板(ほうのき)

のり

えどじだい いんさつほうほう だいかいぼう はんぎ  
**江戸時代の印刷方法を大解剖①版木をつくる**

江戸時代は木をほって文字や絵を印刷する「木版画」が発達したよ。浮世絵館に展示している浮世絵もほとんどが印刷したものなんだ。今回は、どうやって一枚の絵から版画を作ったのか、ふじキュン♡の版画で見てみよう。

こんかい  
今回はふじキュン♡の  
はんが  
版画だキュン!



はんが  
版画はすりあがったとき  
ただよ  
に正しく読めるように、  
もじえぎやく  
文字や絵を逆にほらな  
いとけないんだ。



木の板に原画をはりつけたよ。  
「ふじさわ」の文字が逆になっ  
ているのが見えるかな?

げんが  
**①原画をはりつける**  
原画の表側をのりで木の板にはりつけよう

原画の紙をこすってうすくしたから、ふじキュン♡と文字がよく見えるよね。「ふじさわ」の文字やふじキュン♡が持っているウクレレの向きが逆になっているね。



②紙を「すすす」にする  
絵や文字が見えるようにしよう



はりつけた原画の紙をこすってうすくはがしていった。こうすると絵や文字がよく見えるようになってほりやすくなるんだ。でも、絵が残るように紙をうすくはがすのはむずかしいんだよ。

次にこまかいところを彫刻刀でほっていくよ。最初は残すところによって線をほるよ。

のみ



③「のみ」でほりっ！  
大きなところからのみでほりすすめよう



最初は大きくほるところを「のみ」でどんどんほっていくよ。

次はいよいよ絵の具をぬってすってみるよ

完成したよ



どんどんほっていくよ。ほって残ったところが絵の具をぬるところになるよ。

④版木が完成！  
全部ほって版木を完成させよう

次回は、「江戸時代の印刷方法を大解剖②版画をすってみる」です。